

潮聲閣

Chouseikaku Villa

耕三寺耕三が母親の隠居所として昭和初期に建てた和洋複合の住宅です。

多くの銘木を使い、細部にまで趣向を凝らし、そして当時一流の技術を用いて建てられた邸宅は耕三寺の原点とも言える場所です。

邸内を飾る襖絵などが名立たる近代日本画家によって描かれていることも大きな特徴です。

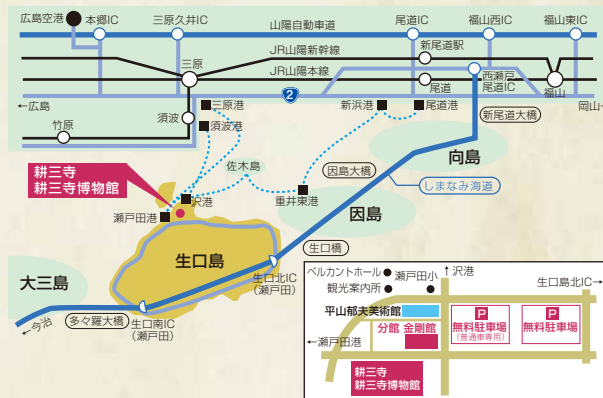


潮聲閣・老人室



初代住職・耕三寺耕三

【交通案内】



- 飛行機 広島空港——三原港(リムジンバス約38分)
- 船 三原港——瀬戸田港(快速船25分)
尾道港——瀬戸田港(普通船40分)
三原須波港——沢港(フェリー約28分)
- バス 福山駅前—(しまなみライナー)—瀬戸田BS—耕三寺前(乗り継ぎ)
福山駅前・新尾道駅—(キラエクスプレス)—瀬戸田BS—耕三寺前(乗り継ぎ)
松山市駅 ※電話予約制
- 車 しまなみ海道 生口島北IC(本州方面より)降車後 約13分
しまなみ海道 生口島南IC(四国方面より)降車後 約13分

【入館料金案内】 ※耕三寺境内・未来心の丘及び金剛館をご見学いただけます。

	個人	団体(20名以上)
大人	1,400円	1,200円
大学生・高校生	1,000円	800円
中・小学以下	無料	無料

※障害者手帳等(*)をご提示の方とその介護者1名は、無料でご入館いただけます。
(*)身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳

【潮聲閣入館料】 大人・子ども共——200円
※潮聲閣は現地で別途入館料をいただきます。

【チケット販売場所】 耕三寺博物館受付
耕三寺博物館公式オンラインチケット
<https://www.e-tix.jp/kousanji/>



【各種割引】

- 学費割引 中学生以下の同伴で一般の方は団体料金でご入館いただけます。
- 相互割引 平山郁夫美術館入館券ご提示の方は団体料金でご入館いただけます。

【電子マネー・クレジットカードのご利用について】
入館券売場、ショップ、カフェでは電子マネー及びクレジットカードがご利用いただけます。

【開館時間案内】 午前9時～午後5時(最終入館は閉館の30分前まで) 年中無休
潮聲閣 午前10時～午後4時
千佛洞地獄峡 午前 9時～午後4時50分
クオーレ 午前10時～午後4時30分



Kousanji Museum

耕三寺博物館

〒722-2411 広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田553-2
Tel.0845-27-0800 Fax.0845-27-3876
www.kousanji.or.jp



宝冠阿彌陀如来坐像(快慶作) 重要文化財



未来心の丘

The Hill Of Hope

イタリアで活躍する彫刻家・杭谷一東氏が設計・制作した大理石庭園(2000年10月開園)です。

5,000㎡余りの敷地には、約3,000トンの大理石を使って大小様々なモニュメントが造られており、自然と周囲の景色とも見事に調和しています。

この一大庭園は、耕三寺博物館による芸術家支援活動の象徴でもあります。



〈光明の塔〉



〈天猫〉から〈光明の塔〉を望む



Kousanji Museum

耕三寺博物館

初代住職・耕三寺耕三が母親の菩提寺として、昭和11年より30年余りの歳月をかけて建立した浄土真宗本願寺派の寺院です。

境内には桜や蓮、つつじなどの花が咲き、極彩色の堂塔と相まって、見る人を楽しませてくれます。

また、堂塔など15棟は国登録有形文化財に登録されています。



耕三寺・本堂と蓮



耕三寺・孝養門と桜

耕三寺・耕三寺博物館 案内図

* 名前の横に●が付いている建物は、国登録有形文化財です。

耕三寺の花ごよみ

桜 : 3月下旬～ 4月上旬 (境内全域)

つつじ: 4月中旬～ 5月下旬 (境内全域)

蓮 : 6月下旬～ 8月下旬 (境内下段)

紅葉: 11月中旬～12月上旬 (境内上段)



車いすをご利用のお客さまへ
 ーの部分には車いすなどでご通行いただけます。
 ただし、以下の場所はお通りいただけません。
 堂塔内部・千佛洞地獄峡・潮聲閣
 金剛館



Kousanji Museum

耕三寺博物館

耕三寺境内の法宝蔵と僧宝蔵および分館・金剛館にて、耕三寺耕三が蒐集した美術品を中心に常設展示しているほか、毎年春・秋には金剛館で特別展を開催します。

また、寺院(耕三寺)の全域を博物館施設として公開するという、全国的に見ても珍しい形式をとっています。



信貴形水瓶 重要文化財



宝冠阿弥陀如来坐像(快慶作)
重要文化財